

がんゲノム医療 がん遺伝子パネル検査希望の患者さんをご紹介頂く手順

君津中央病院ホームページから下記をダウンロードして下さい

- (1) がんゲノム外来 FAX 予約申込書
- (2) がん遺伝子パネル検査登録票 (検査の際に、G-CAT に登録しなければならない情報です)

※病理ブロックがなくても血液検体 (FoundationOne Liquid CDx、Guardant360) による検査は可能です

貴院主治医：当該患者の適格性^{*1}を確認

貴院主治医：当該患者に検査の概要を説明

検査希望あり

貴院主治医：(1)がんゲノム外来 FAX 予約申込書を「がんゲノム医療情報室」宛に送信

FAX 送信先： 0438-36-1417
[がんゲノム医療情報室 宛]

当院がんゲノム担当者から、貴院にお電話し、
適格性や予約の流れについて、ご説明致します。

貴院主治医：

- 初診時にお持ち頂く書類^{*2}を準備し、当院初診日の7日前までに「がんゲノム医療情報室」宛にFAXの上、当院初診時に原本をお持ち頂いて下さい。
- 病理組織標本を用いたがんゲノム検査を希望される場合は、病理組織標本^{*3}(ブロックとガラス標本)を準備し、当院初診時にお持ち頂いて下さい。

【1回目】 初診 <平日午後>

- ・腫瘍内科初診 (適格性確認)
- ・他機関標本診断、検体確認

約1週間

病理検体の評価

※評価の結果、検査に適していなかった場合、血液検体での検査提出をお薦めする可能性があります。

【2回目】 同意/検査

- ・がんゲノム外来 (同意説明)
- ・実施する検査の決定
- ・がんゲノム検査同意、採血
- ・二次的所見プレカウンセリング

約1ヶ月

- ①検査提出
- ②結果到着
- ③判定会議

【3回目】 説明

- ・がんゲノム外来 (結果説明)

貴院にて治療

当院にて治療

他院に紹介して治療

*1 適格基準

※(1)がんゲノム外来 FAX 予約申込書 の p.2 もご確認下さい

- 1) 標準治療がない固形がん患者(この場合は未治療でも適格)又は局所進行若しくは転移が認められ標準治療が終了となった固形がん患者(終了が見込まれる患者を含む)
- 2) 関連学会の化学療法に関するガイドライン等に基づき、全身状態・臓器機能等から本検査施行後に化学療法の適応となる可能性が高い患者
- 3) 遺伝子解析可能な腫瘍組織がある、又は末梢採血が可能

*2 初診時にお持ち頂く書類

※初診予約日の7日前までに事前 FAX をお願い致します。原本は当日ご持参下さい。

- ☐ 診療情報提供書(がんの治療歴、治療内容がわかるようにご記載下さい。)
- ☐ (2)がん遺伝子パネル検査患者登録票 (G-CAT 登録に必要です。ホームページからダウンロードして下さい。)
- ☐ 貴院にある全ての病理診断書のコピー
- ☐ 貴院にある全ての遺伝子関連検査結果のコピー (EGFR、RAS、HER2、MSI、BRCA、自費パネル検査等)

*3 病理組織標本

※後日、返却致します

病理組織標本を用いたがんゲノム検査を希望される場合のみ、ブロックとガラス標本を準備して下さい。FoundationOne Liquid CDx または Guardant360 を希望の場合は病理ブロックの準備は不要です。